

# 新春白部

発行  
日本共産党  
春日部市委員会  
春日部市粕壁東  
6丁目7-12  
電話 748-5159  
FAX 748-5179

## 県議会請願29件中27件を紹介

### 秋山文和県議会報告 15定例会で自民3、公明1



日投開票で行われる県議選の議員定数を93人(現行と同数)と定める条例など7件を可決しました。

県議会12月定例会が12月22日閉会しました。一般会計補正予算2件総額244億円など知事提出議案46件が可決成立しました。

## 妊婦や子育て家庭への支援など

議員提出議案は、今年4月9

一般会計補正予算では、エネルギー価格や物価高騰等の影響により厳しい状況に置かれている事業者支援、妊婦や子育て家庭への経済支援への補助、送迎スクールバスの安全対策などがもりこまれています。県有施設等における光熱費の増額38億6500万円も盛り込まれました。またコロナ禍による医療費増大に対応する国民健康保険特別会計補正予算269億8100万円が別途組まれています。

## 特支送迎バス介助員一人乗車を

今議会一般質問は、守屋ひろ子県議、村岡正嗣県議が行いました。「コロナ禍・物価高騰で困窮する県民への支援」、「県営住宅の増設」、「教員の未配置・未補充の解消」、「荒川調節池の安全性検証」、「マイナンバー保険証の強制やめよ」、「埼玉農業を守り、発展させるために」、「特別支援学校送迎バス介助員一人乗車を」、「県立近代美術館の充実」、「埼玉会館地下のタイムカプセル」など多彩なテーマを取り上げました。

今議会に「医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める請願書」、「2022年度ゆきとどいた教育をすすめるための請願」など4件の請願すべてに党県議団が紹介議員となり採択を主張しました。現在の任期での15回の定例県議会で出された

請願は計29件あります。そのうち27件(93%)を共産党が紹介議員となりました。請願署名数は33万4385筆に上ります。自民党は3件(うち共同1件)、公明党は共同1件、立憲(民主フオーラム)は共同2件などとなっています。憲法で保障された県民の請願権を県政に反映する役割を党議員団がはたしているのです。

文教委員会で秋山文和議員は、所管事務調査として「特別支援学校の不足教室解消の取組みについて」を議論しました。文科省は設置基準に基づき埼玉の特別支援学校の不足教室を191と発表しています。これを解消するために、「ぜひ新設校の増設を」と主張。教育長の決意を問いました。教育長は「早期に解決すべき課題として受け止めています。新設あるいは高校内分校、既存学校への増築、など効果的な手法を検討する中で、過密解消に積極的に取り組む」と答えました。



# 春日部市が

## 「子どもの貧困対策推進計画(案)」を策定

子どもの将来が、貧困の連鎖によって閉ざされることなく子どもの健やかな育ちを社会全体で支援しようとする国において「子どもの貧困対策の推進に関する法律

(平成25年成立、令和元年改正)」が制定されました。

この法律を受けて、春日部市は、子どもたちを支援する環境を構築するには、地方公共団体や民間企業等が連携・協働することが重要と「春日部市子どもの貧困対策推進計画(案)」を策定しました。

この計画案は、春日部市の課題を①子どもが抱える困難を超えて自立する環境づくり②子育て家庭の負担を軽減するための地域の支援体制づくり③困難を抱え

る家庭の生活基盤を整える環境づくり④ヤングケアラーの状況に気づき、改善に向かう必要性と捉え、以下の施策を展開することとしています。

### 将来の自立に向けた子どもに対する支援

将来の夢の実現を応援するために、経済的な支援とともに、子ども専用相談窓口を開設し、放課後の子どもの居場所づくりなどに取り組みます。

- 1 児童育成支援拠点事業
- 2 高校中退者への就労支援事業
- 3 地域における支援体制の充実

### 子どもの豊かな成長を支える多様な支援

子どもと子育て世帯を総合的に支援するため、「子ども家庭センター」を創設し、支援団体との連携を強化するとともに、訪問活動に取り組みニーズに合わせた支援をします。

- 4 こども家庭センターの創設
- 5 子育て世帯訪問支援事業
- 6 地域子育て相談機関の整備と連携強化

### 生活基盤を整えるための家庭に対する支援

ひとり親世帯等の生活に困難を抱える家庭が、地域で安心して生活できる環境を整えます。

- 7 ひとり親家庭養育費確

### 保支援事業

- 8 子育て短期入所生活援助事業

### 困難を抱える子どもに対する気づきの支援

ヤングケアラーが一人で抱え込むことがないように、家庭全体が抱える重層的な課題を支援します。

- 9 ヤングケアラー啓発と関係機関の連携事業
- 5 (再掲載) 子育て世帯訪問支援事業

現在、この計画案を公民館等に配架し、市民のみなさんの意見を募集しています。期間は1月4日～2月2日です。

経済的な困難を抱える子育て世帯への支援は、児童虐待やヤングケアラー問題を解決する上で重要な課題です。ぜひ、意見を提出していきましょう。

市立医療センター ☎735-1261(夜間毎日土・日・祝)内・外科系 救急電話相談#7119

1/22(日) かすかべ消化器内科クリニック(内科系) 谷原新田2177-1 ☎796-0230 関根医院(小児科系) 新宿新田226 ☎746-7211 ようこ皮膚科(外科系) 大沼2-62-24 ☎612-3555

1/29(日) 横田医院(内科系) 中央1-15-10 ☎761-0201 安達医院(小児科系) 栄町3-287 ☎761-6398 佐藤整形外科(外科系) 大場1385-3 ☎731-4550

休日当番医